



光の子だより

令和6年7月2日
千葉市立作新小学校
校長 金谷 英味

学校教育目標:一人一人のちがいを大切に「かしこく あたたかく たくましい」子どもの育成

休み時間も子供を成長させる大事な時間

運動会が終わり、学校全体が通常モードに戻りました。子供たちが大好きな休み時間も十分に楽しむことができている。ただ、これからは熱中症の心配があるため、毎日、朝、業間休み前、昼休み前の3回、熱中症指数の測定をして、外遊びの可否を判断しています。もちろん水泳学習前にも行っています。今回は休み時間の子供たちの様子を紹介したいと思います。

【お互いを成長させる異学年交流活動】

①ドッジボール大会

集会委員会が兄弟学年(1・6年、2・4年、3・5年)でのドッジボール大会を企画してくれました。ルールも下学年に配慮したルールを考えてくれていました。同級生



同士なら、不満が出そうな場面でも、下級生がいると、ぐっと自分の感情を抑えて活動することができます。下級生からは「ありがとう。」と自然と言葉が出ていました。

②なかよし活動

1年生から6年生までが所属する約30名ほどのグループで、年間11回ほど活動します。時には話し合い活動、時には遊びなどを行います。今回は「なかよし遊び」でした。それぞれのグループの6年生がみんなが楽しめる遊びを考えて実施します。ルールが伝わるよう、言葉を選びながら一生懸命に説明をする6年生。早く遊びたいと、上学年の話に耳を傾ける下学年。寄り添ったり、甘えたり。



どの様子を見ていても、本当にかわいいです。大人が教えるよりも、自分たちで感じて、大事なものを気づかないうちに学んでいるのでしょう。

【大切な小さな生き物の命】

下学年の子供たちは、生き物探しや飼育に夢中です。毎日、大事そうに生き物入りの虫かごを抱えて登校してくる子もいます。朝「校長先生これあげる。」と握った手を開くと、丸まったダンゴムシが3匹いました。休み時間にはカミキリムシを捕まえ「これはメスだよ」、チョウチョを見つけて「これは珍しいかも」と。先日、大網白里市で2歳の男の子が金色のオタマジャクシを見つけたと話題になっていました。作新小の子供も小さな命を見つめながら、大発見をするかもしれないと、秘かに期待しています。

★セーフティーウォッチャーの皆様、暑い中、いつもありがとうございます。熱中症には、どうぞお気を付けてください。